

きのと小だより

燦

合言葉：みんなで力を合わせて、子どもの方をしっかりと向いて、
大事に大事に育てましょう。 平成27年10月1日 10号

力を尽くす姿 力をつけた姿

校長 金子 智

10月4日は「胎内市教育の日」です。心の教育の充実を目指す日です。この日市内各校とも道徳の授業を公開します。保護者の皆様、地域の皆様、是非参観ください。お待ちしております。

○ 9月17日、6年生の親善陸上大会が胎内市陸上競技場で行われました。この日に向け子どもたちは毎日毎日練習しました。

100メートル走のスタートも体が覚えるまでやりました。長距離走も200メートルを40秒のペースで走ることを目当てに練習しました。ハードル間を3歩で走ることを目標にチャレンジしました。幅跳びも、高跳びも、リレーもみんなそうでした。毎日毎日、繰り返し繰り返し練習しました。本当に力を尽くしました。がんばり抜きました。そんな子どもたちを誇らしく思っています。

努力は報われました。優勝種目は4種目。入賞種目は6種目8人。大記録でした。

その日の職員の当番日誌には「精一杯力を出しきったのであろう、みんなとても素敵な笑顔で帰ってきた。4つのカップを男子も女子も嬉しそうに自慢していた。“友だちの活躍をみんなでよこべる”素敵なクラスである。」とありました。

「素敵なクラス」。確かにそうです。私も少し遅れて応援に駆けつけました。子どもたちと先生と、2階の応援席の前のフェンスに体をくっつけるように横一列になって応援していました。

「い〜け、い〜け、いけ、いけ、きのと。」

「お〜せ、お〜せ、おせ、おせ、きのと。」

みんなの声が一つになって響いていました。

○ 先日午後のことです。5時間目4年生担任が出張だったので、私が子どもたちのところに行きました。来客があったので、少々遅れて教室に向かいました。階段を上がると教室には確かに人の気配があるのに、「だれもいないのかな。」と思うほど静かでした。読書をしているのでした。

私に気づいた子どもたちは軽く会釈をして、また読書続けました。私は音をたてないように静かに椅子に座りました。

どの子もまっすぐ本に向いているのがよくわかりました。そうする力が身に付いているのです。「読書を楽しめる」。なんと豊かなことでしょう。

毎日見ていれば昨日とほとんど変わらない今日の子どもたちで、今日とほとんど変わらない明日の子どもたちですが、でも確実に進歩向上しているのだと思いました。どの子もみんなできることを増やしているのだと思いました。

翌日、担任に子どもたちの読書ぶりに感心したことを伝えました。担任は「あの子たち読書ができる子どもたちなんです。」と嬉しそうに話していました。

担任のこの話を聞いて、私は新採用の時に先輩に言われた言葉を思い出しました。「金子、読書好きの子どもにしたら、国語教育の半分は成功したということなんだよ。」と。

風にゆれるススキ もうすっかり秋です。